

(資料4) 平成18年度地方環境研究所等との共同研究応募課題一覧

内訳:32機関68課題

(平成19年3月31日現在)

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		新規 継続	対応研究 種類
				A・B・C	α・β		
北海道環境科学研究センター	高田雅之 (企画総務部)	流域生態系の再生プラン支援を目的とした河川ネットワーク解析技術の開発	福島路生 (アジア)	B	α	継続	経常研究
	野口泉 (環境保全部)	日本北方における対流圏オゾン及びその前駆物質の動態に関する研究	谷本浩志 (アジア)	B	α	継続	経常研究
	姉崎克典・大塚英幸 (環境保全部)	ダイオキシン類及びPCBsの発生源解析に関する研究	橋本俊次・伊藤裕康(化学)・鈴木規之(リスク)	B	β	継続	経常研究
	阿賀裕英 (環境科学部)	北海道における有機性廃棄物の資源化システム構築に関する研究	井上雄三 (循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
青森県環境保健センター	三上一 (公害部)	十和田湖における難分解性溶存有機物の発生原因の解明に関する研究	今井章雄 (水土壤)	B	β	継続	経常研究
岩手県環境保健研究センター	高橋悟 (環境科学部)	バイオアッセイを用いた環境試料中の環境ホルモン作用のモニタリングとそのリスク評価	白石不二雄・白石寛明(リスク)	B	β	継続	経常研究
山形県環境科学研究センター	伊藤聡 (環境企画部)	流域生態系の再生プラン支援を目的とした河川ネットワーク解析技術の開発	福島路生 (アジア)	B	β	新規	中核P3
宮城県保健環境センター	鈴木滋 (環境化学部)	環境汚染化学物質であるダイオキシン類の分析法に関する研究	伊藤裕康・橋本俊次(化学)	B	β	継続	経常研究
	北村洋子 (大気環境部)	北東部太平洋側における降水中の鉛同位体比測定によるアジア大陸からの越境大気汚染の調査	村野健太郎(大気)向井人史(地球C)	B	β	継続	地球総合推進費
	柳茂 (環境化学部)	廃棄物及び再生材の化学組成データベース作成及び発生業種・種類による特性化と環境対策への利用	貴田晶子 (循環C)	B	α	継続	政策対応型研究
新潟県保健環境科学研究所	村山等 (大気科学科)	ダイオキシン類による地域環境汚染の原因解明に関する研究	橋本俊次・伊藤裕康(化学)	B	β	継続	経常研究
	武直子 (大気科学科)	大気中の粒子状及びガス状無機成分について、濃度の把握並びにその変動要因の解明に関する研究	村野健太郎(大気)向井人史(地球C)	B	α	新規	経常研究
群馬県衛生環境研究所	大谷仁己(水資源・環境グループ)	バイオアッセイを用いた水環境の一般毒性と汚染との関連性に関する研究	白石不二雄 (リスク)	B	β	新規	経常研究
茨城県霞ヶ浦環境科学センター	江原孝(大気環境研究室)	関東地域における大気汚染研究に関する広域ネットワーク構想	大原利真 (アジア)	B	α	継続	重点特別研究
埼玉県環境科学国際センター	武藤洋介(大気環境担当)	関東地域における大気汚染研究に関する広域ネットワーク構想	大原利真 (アジア)	B	α	継続	重点特別研究
	木持謙(水環境グループ)	バイオ・エコエンジニアリングを活用した環境低負荷適正技術開発と普及に関する研究	稲森悠平 (循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
	小野雄策・倉田泰人・川崎幹生(廃棄物管理グループ)	廃棄物の安定化に着目した品質評価技術の開発	阿部誠・山田正人(循環C)	B	α	継続	政策対応型研究
	小野雄策・渡辺洋一(廃棄物管理グループ)	循環型社会に適合した最終処分物流システムの開発	朝倉宏・山田正人(循環C)	B	α	継続	政策対応型研究
	長森正尚・磯部友護・長谷隆仁(廃棄物管理グループ)	埋立地ガスならびに土壌保有水を対象とした最終処分場安定化モニタリング	山田正人・遠藤和人(循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
東京都環境科学研究所	石井康一郎(基盤研究部)	関東地域における大気汚染研究に関する広域ネットワーク構想	大原利真 (アジア)	B	α	継続	重点特別研究
	大野正彦・西野貴裕・佐々木裕子(分析研究部)	東京都内の河川水と東京湾におけるPFOS汚染の実態調査	柴田康行・高澤嘉一・岩根泰蔵(化学)	B	β	新規	経常研究
	星純也(分析研究部)	有害大気汚染物質自動分析計の精度管理に関する研究	田邊潔 (化学)	B	β	継続	経常研究
	山本央(分析研究部)	ダイオキシン類・PCBの簡易分析に関する研究	橋本俊次 (化学)	B	β	継続	経常研究
	安藤晴夫(基礎研究部)	東京湾(都区部)における栄養塩・有機炭素総量の推定	牧秀明 (水土壤)	B	α	継続	経常研究
神奈川県環境科学センター	相原敬次(環境保全部)	フナ林衰退地域における総合植生モニタリング手法の開発	清水英幸 (アジア)	B	β	新規	経常研究

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		新規 継続	対応研究 種類
				A・B・C	α ・ β		
神奈川県環境 科学センター	相原敬次(環 境保全部)	地衣類の遺伝的多様性を活用した大気汚染診断	河地正伸 (生物)	B	α	新規	試験研究費
	福井博(環境 技術部)	最終処分場の廃止に向けた安定度判定に関する研究	山田正人・遠藤 和人・坂内修 (循環C)	B	β	継続	経常研究
神奈川県水産 技術センター	照井方舟(栽 培技術部)	アワビ類の再生産機構の解明と資源回復に向けた漁 場環境の評価及び改善に関する研究	堀口敏宏 (リスク)	B	α	新規	経常研究
川崎市公害 研究所	小倉隆(リサイ クル担当)	川崎市におけるシナリオ・ビジョンづくりに向けた統 合的データベースの設計と実証的運用実験研究につ いて	藤田壮 (アジア)	B	α	新規	重点関連研究
千葉県環境 研究センター	岡崎淳(企画 情報室)	関東地方におけるオゾンによる植物被害とその分子 的メカニズムに関する研究	青野光子・久保 明弘(生物)	C	β	新規	経常研究
	大石修(廃棄 物・化学物質 部)	最終処分場の経営戦略に関する研究	山田正人・遠藤 和人(循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
	栗原正憲(廃 棄物・化学物 質部)	最終処分場内観測井などを用いた安定化モニタリ ング手法の開発	遠藤和人・坂内 修(循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
	石渡康尊(廃 棄物・化学物 質部)	最終処分場ボーリングコアを用いた廃棄物分解過 程の評価	朝倉宏・山田正 人(循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
	半野勝正(廃 棄物・化学物 質部)	水生生物を用いた最終処分場浸出水の簡易管理 手法の開発	阿部誠・山田正 人(循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
静岡県環境衛 生科学研究所	杉浦弘康(大 気・水質部)	地衣類の遺伝的多様性を活用した大気汚染診断	河地正伸 (生物)	B	α	新規	試験研究費
富山県環境 科学センター	日吉真一郎・ 山崎敬久(大 気課)	ほう素化合物による大気汚染の監視測定技術の開 発及び除害技術の開発	田中敦 (化学)	B	β	新規	地域密着
	木戸瑞佳・中 村篤博(大気 課)	立山山域における大気エアロゾル粒子の化学的特 徴に関する研究	西川雅高 (基盤)	B	β	継続	経常研究
	溝口俊明・日 吉真一郎(大 気課)	立山観測局における降水中の鉛同位体比に関する 研究	村野健太郎(大 気)向井人史 (地球C)	B	β	継続	経常研究
	山崎敬久・溝 口俊明(大気 課)	ライダーを用いた黄砂エアロゾル飛来状況に関 する研究	杉本伸夫 松井一郎(大気)	B	β	継続	経常研究
長野県環境 保全研究所	小澤秀明(環 境保全チーム)	環境試料中のダイオキシン類および関連物質の分 析法に関する研究	伊藤裕康・橋本 俊次(化学)	B	β	継続	経常研究
	土屋としみ(大 気環境・化学 物質ユニット)	山岳地域におけるハロゲン化メチルの動態に関 する研究	横内陽子 (化学)	B	β	継続	経常研究
	中込和徳 (大気環境・科 学物質ユニ ット)	山岳(八方尾根)降雪中の鉛同位体比測定による アジア大陸からの越境大気汚染の定量化	村野健太郎 (大気)向井人 史(地球C)	B	β	継続	科研費
	樋口澄男(環 境保全チーム)	車軸藻の野生絶滅・絶滅危惧種の保護と自然界 への復元に関する研究-車軸藻類を中心とした湖沼 水草帯の復元手法と水質浄化機能の検討-	笠井文絵 (生物)	B	β	継続	経常研究
	浜田崇(循環 社会チーム地 球環境ユニ ット)	自治体向けクリマアトラス作成方法の開発:長野 市における研究をベースに	一ノ瀬俊明 (社会)	B	α	新規	経常研究
福井県衛生環 境研究センター	加藤賢二・青 木啓子・松崎 賢(環境保全部)	水環境の健全化のための底質改善・底質除去資 源循環技術の開発	稲森悠平 (循環C)	B	β	継続	経常研究
	田中宏和 (生活科学部)	北陸地方における産業廃棄物最終処分場(管理 型)の安定化に関する研究	山田正人・遠藤 和人(循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
岐阜県保健 環境研究所	村瀬秀也 (環境科学部)	環境試料中のダイオキシン類の分析法と環境動 態に関する研究	伊藤裕康・橋本 俊次(化学)	B	β	継続	経常研究
石川県保健 環境センター	橋田哲郎 (環境科学部)	有用動物プランクトンの特性評価と湖水浄化 への適用に関する研究	稲森悠平 (循環C)	B	α	新規	政策対応型研究

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		新規 継続	対応研究 種類
				A・B・C	α ・ β		
京都府保健 環境研究所	中西貞博 (大気課)	日本海側におけるエアロゾル中の微量金属及び鉛同位体比の動態に関する研究	村野健太郎(大気)向井人史(地球C)	B	α	継続	経常研究
	中嶋智子 (環境衛生課)	廃棄物埋立処分起因する外因性内分泌攪乱化学物質による環境影響評価に関する研究	白石不二雄(リスク)	B	β	継続	経常研究
	中西貞博 (大気課)	粒子状物質の粒径別高時間分解能成分分析手法の開発と都市大気エアロゾルの動態解明への応用に関する研究	大原利真(アジア)	B	α	継続	重点特別研究
	田村義男 (大気課)	日本における光化学オキシダント等の挙動解明に関する研究	菅田誠治(アジア)宮下七重(情報C)	C	α	継続	重点特別研究
兵庫県立健康 環境科学研究所	梅本諭・駒井幸雄(水質環境部)	ため池と周辺を含む地域生態系での水環境に関する基礎的研究	高村典子(リスク)	B	β	継続	経常研究
名古屋市環境 科学研究所	朝日教智・榊原靖(水質部)	微生物分解による環境汚染物質の浄化に関する研究	岩崎一弘(水・土壌)	B	β	継続	経常研究
	土山ふみ・鎌田敏幸(水質部)	ため池の多面的な利用と保全・再生に関する基礎研究	高村典子(リスク)	B	β	新規	地域密着
鳥取県生活 環境部衛生環境 研究所	山根一城(食品衛生室)	内分泌攪乱化学物質による生態系への影響に関する研究	白石不二雄・鐘迫典久(リスク)	B	β	新規	経常研究
	小川美緒(水環境室)	湖水中の難分解性有機物に関する研究(鉱物を利用した難分解性有機物の吸着除去技術の検討)	岩崎一弘(水・土壌)	B	β	継続	経常研究
	門木秀幸(環境科学室)	廃棄物・再生材の化学組成データベース作成及び廃棄物・ガラス再生材の特性化と環境対策への利用(廃棄物・ガラス再生材の化学特性及び環境安全に関する研究)	貴田晶子(循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
	門木秀幸(環境科学室)	循環型資源特性に着目した有機性廃棄物循環利用システムの構築	井上雄三(循環C)	B	β	継続	重点特別研究
和歌山県 環境衛生研究 センター	野中卓(環境研究部)	太平洋岸(潮岬)降雨中の鉛同位対比測定によるアジア大陸からの越境大気汚染の定量化	村野健太郎(大気)向井人史(地球C)	B	β	継続	経常研究
鳥根県保健 環境科学研究所	黒崎利恵(大気環境グループ)	ライダー観測に基づく高濃度エアロゾルの解析	杉本伸夫・松井一郎(大気)清水厚(アジア)	B	β	新規	経常研究
福岡県保健 環境研究所	須田隆一(環境生物課)	ブナ林衰退地域における総合植生モニタリング手法の開発	清水英幸(アジア)	B	β	新規	経常研究
福岡市保健 環境研究所	竹中英之(環境科学部)	藻場の生態系機能による海域再生研究	矢部徹(生物)	C	α	継続	経常研究
北九州市環境 科学研究所	門上希和夫(アーク研究センター)	浸出液中半揮発性有機汚染物質スクリーニング方法に関する共同研究	野馬幸生(循環C)	B	β	継続	政策対応型研究
長崎県衛生 公害研究所	森淳子(大気科)	東アジア規模の汚染物質の移流過程と成分組成に関する解析研究	村野健太郎(大気)向井人史(地球C)	B	β	継続	経常研究
	森淳子(大気科)	ライダーによる黄砂現象解明に関する研究	杉本伸夫・松井一郎(大気)清水厚(アジア)	B	β	新規	経常研究
沖縄県衛生 環境研究所	宮城俊彦(環境生活部)	亜熱帯域島嶼における最終処分場の安定化メカニズムの解明に関する研究	山田正人・遠藤和人(循環C)	B	β	新規	経常研究
	大野惇(衛生科学班)	沖縄県における野性動物保全と安全性の確保に関する共同研究	桑名貴・橋本光一郎・大沼学・今里栄男・大場麻生(基盤ラボ)	B	α	新規	経常研究

* 研究タイプA～C

A: 地環研の研究者が自治体における国内留学制度等を利用し、国立環境研究所に於いて原則として1ヶ月以上にわたり共同で研究を実施するもの。

B: 地環研と国立環境研究所の研究者の協議により、共同研究計画を定め、それによって各々の研究所において研究を実施するもの。

C: 全国環境研協議会、ブロック会議等からの提言をうけて、国立環境研究所と複数の地環研の研究者が参加して共同研究を実施するもの。

* 研究タイプ α 、 β

α : 国立環境研究所が主体のもの

β : 地方環境研究所が主体のもの